

佳作

## ぼくが感動したこと

福島県 福島市立矢野目小学校五年 酒井 颯太

ぼくが、今年の夏に感動したことは、リオデジャネイロオリンピックです。

オリンピックでは、色々な競ぎの日本代表選手がいっしょうけんめい戦い、メダルをたくさん取ることができて、本当にすごいと思いました。その中で、ぼくが最も感動したのは、女子レスリング代表吉田沙保里選手のインタビューです。

吉田選手は、これまでにオリンピックで三連覇していて、世界最強の選手でした。吉田選手が金メダルを取るの当たり前だとみんなが思っていたし、ぼくもぜったいにゆうしようすると信じていました。しかし、吉田選手は、決勝戦でアメリカの選手におしくも負けてしまい、銀メダルになってしまいました。吉田選手は、試合に負けた後のインタビューで泣きながら、

「たくさんの人が、私をおうえんしてくれたのに、期待にこたえられなくてごめんなさい。」

と何度もあやまっていました。

ぼくは、このインタビューを聞いて、吉田選手は本当にすごい選手だなと思いました。なぜかという、色々な人から金メダルを取って当たり前だと思われ、ものすごいプレッシャーを感じながら必死に戦い、試合に負けても言いわけをせず、おうえんしてくれた人へあやまったからです。

ぼくは今、スイミングスクールに通っていて、いつも進級テストがあります。進級テストは、例えばクロールで二十五メートルを何秒で泳がないと合格できないなどの課題があり、達成すると進級することができます。それが、ぼくにとってはものすごいプレッシャーで、ときどき進級テストを休みたくなるし、合格できなかったときは、体調が悪かったとか言いわけをしたこともあります。

吉田選手が、負けたことを言いわけせず、おうえんしてくれた人に泣いてあやまっていたすがたを見て、とてもしらばだったし、感動しました。四連覇できなかったことは残念ですが、いっしょうけんめい戦ってくれてありがとうと言いたいです。

強い選手は、どんなにプレッシャーを感じても、そのプレッシャーからにげずに毎日どりよくし、試合に負けても決して言いわけをせず、おうえんしてくれた人へかんしゃの気持ちをおわすれないことがわかりました。

ぼくも、おうえんしてくれるお父さん、お母さんやスイミングスクールの先生にかんしゃしながら、毎日少しずつどりよくして、スイミングが上手になるようにがんばります。